

韓国人日本語学習者のための類義語分析一名詞を中心に一

李 澤 熊

キーワード：類義語、うら、うしろ、習慣、癖、病みつき

1. はじめに

日本語と韓国語は文構造が非常によく似ているため、日本語は韓国人にとって学びやすい言葉であると言われている。確かに、語順をはじめとする文法が非常に似ていることは事実であるが、だからといってすべてにおいて同じなわけではない。

例えば、日本語では「太郎に似た顔」「花子に会う」というように、動詞「似る」と「会う」は、助詞「に」と共起して用いられることがあるが、韓国語では日本語の助詞「に」にあたる助詞とは共起することができず、日本語の「を」にあたる「을(eul)/를(leul)」と共起する。このように、助詞の使い分けなど、微妙に異なるところもあるため、注意しなければならない。

さて、韓国人が日本語を学習する際に、様々な難題にぶつかる。文字や発音の学習などいろいろ考えられるが、何よりも語彙の意味を理解することが重要な課題であると考えられる。近年、日韓両言語を対象とした研究が盛んになり、優れた研究が数多く報告されるようになった。しかし、今の研究が必ずしも十分とは言えない。特に意味分析を扱った文献の中で日本語教育現場で有効に活用できるようなものはいまだ少ないと言えよう。

以上の状況を踏まえ、李(2011)はいくつかの文法項目と語彙項目を取り上げ、対照言語学研究の観点から分析を行っている。例えば、日本語と韓国語には中国語起源の漢語系語彙が数多く含まれているということから、日韓両言語の(漢語系を含む)語彙の意味の違いについて考察を行った。その中で名詞については、少なくとも以下のようなパターンがあることが分かった。

(1) 漢語系語彙の中で、日本語と韓国語の間でまったく異なる意味で用いられる例。

<表 1 >

日本語	韓国語
勉強	공부(工夫)
部外者	외인(外人)
場合	경우(境遇)
挨拶	인사(人事)
長所	장점(長点)
家族のこと、家の中	가내(家内)
元氣(丈夫)な男性	대장부(大丈夫)
一階	일층(一層)

(2) それぞれ表す意味は同じであるが、語や音節の配列が反対になっている例。

<表 2 >

日本語	韓国語
婚約	약혼(約婚)
良妻賢母	현모양처(賢母良妻)
同上	상동(上同)
古今東西	동서고금(東西古今)
あちらこちら	이쪽 저쪽(こちらあちら)
ああだこうだ	이러쿵 저러쿵(こうだああだ)
行ったり来たり	왔다 갔다(来たり行ったり)
立ったり座ったり	앉았다 섰다(座ったり立ったり)

(3) 韓国語の漢語系語彙の中で、日本語とそのままの形では対応しないが、使われている漢字から、その意味が推測できる例。

<表 3 >

韓国語	日本語
여학생(女学生)	女子学生
남학생(男学生)	男子学生
호수(湖水)	湖
상가(商街)	商店街
혼담(婚談)	縁談
수영복(水泳服)	水着
강(江)	川
생일(生日)	誕生日

さらに調べていくと、以下のように「類義関係にある複数の語（ここでは日本語の名詞）が韓国語の1語に対応する（または、その逆の）例」があることに気づく。

- (4) 類義関係にある複数の語（日本語の名詞）が韓国語の1語に対応する（または、その逆の）例。

<表 4 >

韓国語	日本語
뒤	後ろ／裏／後
기분	気持ち／気分
전망	見通し／見込み／展望
여유	余裕／ゆとり
습관 / 버릇	習慣／癖／病みつき（注1）
여기 / 이곳	ここ
안 / 속	中
물고기 / 생선	魚

以上のようなパターンは、誤用しやすい項目として考えられ、学習者の注意を要する。そこで、以下では<表 4 >にあげた語の中でいくつかを取り上げ、分析を行い、日本語教育の現場で有効に活用できるような教材作りのための基礎資料の作成を目指していく。

2. 名詞の類義語分析

2.1. 「うら」と「うしろ」

この節では、「うら」と「うしろ」を比較し、両語の意味の類似点と相違点を明らかにする。「うら」と「うしろ」は韓国語ではいずれも「뒤 (dwi)」となるため、両語の違いを明確にする必要がある（注2）。

「うら」と「うしろ」は以下の例からも分かるように、概略<あるものの背後の方向>という共通の意味特徴を持っていると考えられる。

- (1) この家のうしろ（うら）（뒤(dwi)）に窖蔵があるから、それを開けて見たまえ。
（田中貢太郎「酒友」）
- (2) 中央郵便局の建物のうら（うしろ）（뒤(dwi)）を銀座に向かって歩いてった。（宮本百合子「舗道」）

上記の例における「うら」と「うしろ」はそれぞれ置き換えることができ、文の持つ

意味もほとんど変わらない。例(1)と(2)は、概略「この家の背後の方向」、「中央郵便局の建物の背後の方向」というようにとらえることができる。

しかし、以下の例のように互いに置き換えてみると不自然な文になる場合もあるため、両語は違う意味の側面も持っていると考えられる(注3)。

(3) 扁平足のような状態になってしまい、足のうら(??うしろ)全体が痛くなるのです。

(<http://itami.onicu.com/asiura.html>)

(4) 私はほほえみながら何度もうしろ(??うら)をふりかえった。(芥川龍之介「日光小品」)

それでは、まず「うら」の意味を考察する。次の例を見てみよう。

(5) 犬がカップ麺(担々麺)のふたのうら(??うしろ)をなめたんですが、大丈夫ですか？

(http://detail.chiebukuro.yahoo.co.jp/qa/question_detail/q1147233866)

(6) アポロ11号は、なぜ月のうら(??うしろ)に着陸したのでしょうか。

(<http://qanda.rakuten.ne.jp/qa/5782605.html>)

(7) サッカーの試合の前にスパイクのうら(??うしろ)を審判が確認する様に、靴の裏を見せてもらって確認するのがいいと思います。

(<http://homepage3.nifty.com/ja8mrx/situke33.htm>)

(8) 続いて死体を掴むとカバーしているシンプソンとタイミングをあわせ一気にひっくり返す。1、2、3！シンプソンが死体のうらを確認する。

(<http://mousou.secret.jp/cqb/cqb02.html>)

以上の例から分かるように、「うら」が用いられるためには、ある対象は二つの面(としてとらえられるもの)を有していなければならない。つまり、「カップ麺のふた」は二つの面を持っており、「月」「スパイク」「死体」は二つの面を持っているものとしてとらえられている。

また、当該の対象の二つの面のうちの一方は、いわゆる「正面」としてとらえられる。例えば、例(7)の「靴」は「足を入れる部分の面」であり、例(8)の「死体」は、「顔のある面」ということになる。それに対して、もう一方のほうは、「正面」から見えない(ととらえられる)ということになる。

以上のことから、「うら」の意味は<二つの面(としてとらえられるもの)のうち、正面から見えない(ととらえられる)方向>というように記述することができる。

続いて、「うしろ」を取り上げる。以下の例を見てみよう。

(9) (ラーメン二郎 中山駅前店)

店内待ちは座っている人のうしろ (??うら) に立って待つ方式です。

(http://blog.livedoor.jp/all_round_gate-jiro/archives/1722272.html)

(10) 何気なく仰ぐと千鶴子が黙ってソファのうしろ (??うら) に立っていた。(真紀子横光利一「旅愁 (前半)」)

(11) そこで暫くぼんやりうしろ (??うら) を向いて待っていたが、一向に矢代たちの追って来そうな気配はなかった。(横光利一「旅愁 (前半)」)

(12) いつの間にやら、空を覆っていた黒い雲は遙かうしろ (??うら) にいて、今は気持ちのよい青空が覗いている。(http://ncode.syosetu.com/n7520n/16/)

以上の例から分かるように、「うしろ」の場合、当該の対象は「前後の区別のあるもの」でなければならない。つまり、例(9)の「人」は、「顔のある部分」と「その背後の部分」であり、例(10)の「ソファ」は、「座る部分」と「背もたれのついている部分」ということになる。そして「うしろ」となるのは、「顔のある部分と反対の方向」「背もたれのついている方向」ということである。

以上のことから、「うしろ」の意味は<前後の区別のあるもの>のうち、前面に対する方から見てその背面に位置する方向>というように記述することができる。なお、例(12)から分かるように、「前面に対する方から見てその背面」というのは、左右の方向を含め、広い範囲まで指すことができる。

それでは、ここで「うら」と「うしろ」の意味の違いについて考察する。

上の例(5)～(7)において、「うら」を「うしろ」に置き換えてみると、この文脈では非文か不自然な文となる。上でも説明したように、「うら」は、それが持つ意味特徴から「二つの面 (としてとらえられるもの)」が想定され、「正面から見えない (ととらえられる) 方向」を表す場合に用いられる。それに対して、「うしろ」は単に「前面に対する方から見て、その背面に位置する方向」を表す場合に用いられる。つまり、「二つの面 (としてとらえられるもの)」を想定する必要がない。

以上の例(5)～(7)は、文の状況から分かるように「二つの面 (としてとらえられるもの)」が明確に現れており、「正面から見えない (ととらえられる) 方向」を表していると考えられる。そのため、「二つの面 (としてとらえられるもの)」を想定しない「うしろ」を用いると不自然になると考えられる。

一方、上の例(9)～(12)において、「うしろ」を「うら」に置き換えてみると、この文脈では非文か不自然な文となる。これらの例は、文の状況から分かるように、単に「前

面に対する方から見て、その背面に位置する方向」を表しており、「二つの面（としてとらえられるもの）」を想定することが難しい。また、「正面から見えない（ととらえられる）方向」というように解釈することも難しい。従って、「うら」を用いると不自然な文となる。

ここで、「うら」と「うしろ」が両方用いられる例を見てみよう。

(13) 現在一戸建て住宅に住んでいますが、家のうら（うしろ）にマンションが建設されることになりました。（<http://okwave.jp/qa/q5911957.html>）

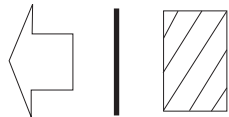
(14) 彼は欄干に肘をついたまま立ちつづけていると、うしろ（うら）のドアが開いて近づいて来た靴音がびたりと停った。（横光利一「旅愁（前半）」）

例(13)において、「うら」を用いた場合は、「家」を二つの面のあるものとしてとらえ、正面（家の玄関）から見えない方向にマンションが建設されるというようにとらえられる。つまり、玄関と対称になる位置に建設されるというニュアンスが現れる。

それに対して、「うしろ」を用いた場合は、単に「前面（家の玄関）に対する方から見て、その背面に位置する方向」を表すため、「玄関」と反対側付近であればどこでも良い。

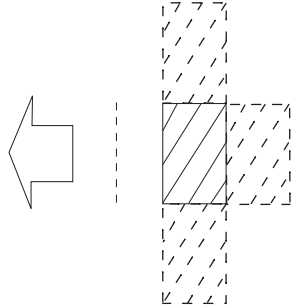
以上のことを図で示すと、次のようにまとめられる。

<図1> 「うら」



※ 「二つの面（としてとらえられるもの）」が想定され、「正面から見えない（ととらえられる）方向」を表す。

<図2> 「うしろ」



- ※ 「前面に対する方から見て、その背面に位置する方向」を表す。「二つの面（としてとらえられるもの）」を想定しない。
- ※ 「前面に対する方から見てその背面」というのは、左右の方向を含め、広い範囲まで指すことができる。

2.2. 「習慣」と「癖」と「病みつき」

続いて、この節では「習慣」、「癖」、「病みつき」の3語を比較し、それぞれの意味の類似点と相違点を明らかにする。この3語は、韓国語の「습관 (seubgwan)」と「버릇 (beoleus)」のどちらかに対応するが、以下の例から分かるように、その対応関係は必ずしも明確ではないため（対応しない場合もあるため）、使い分けには十分に気をつける必要がある。

- (15) 髪の毛のくせ（*습관／*버릇）を短時間で直す方法ありませんか？
(<http://www.casphy.com/bbs/test/read.cgi/kireicafe/1173256462/150>)
- (16) 僕自身は正直佐野の「癖（*습관／*버릇）のある文章」に違和感を覚えることも多い。(<http://www.amazon.co.jp/review/R1003MO4UG952M>)
- (17) 안문숙이 버릇（*習慣／*癖／*病みつき）없는 후배와 예절바른 후배에 대해 입을 열었다. (<http://bo.lalca.com/blog/lalca/73212>)
安文淑が버릇のないの後輩と礼儀正しい後輩について口を開いた（注4）。

2.2.1. 「習慣」と「癖」

ここでは、「習慣」と「癖」を取り上げ、両語の意味の類似点と相違点について考察する。まず、「習慣」を取り上げる。「習慣」は、少なくとも2つの意味を認めることができる。次の例を見てみよう。

- (18) 公園で軽く体操。その日の練習に備えてのボディチェックは彼のずっと変わらない習慣の一つだ。(http://www.kotonoha.gr.jp/demo/)
- (19) 昼食時にも必ず缶ビールを二本あけ、ほろ酔い気分で一時間ほどの昼寝をするのを習慣にしていた。(http://www.kotonoha.gr.jp/demo/)
- (20) 最近ご飯を食べるとうとうとするようになった。変な習慣 (癖) がついてしまった。(http://d.hatena.ne.jp/yukilovingyou/comment?date=20080919)

以上の例は、行動などを、同じ状況下で、長い間繰り返す行い、そうすることによってだんだん一定の形に定着し、決まりのようになったことを表していると考えられる。例えば、例(18)は「ずっと変わらない」という表現からも分かるように、「長い間『ボディチェック』という動作を繰り返した結果、それがだんだん定着し、決まりのようになった」というように解釈することができる。

以上のことから、習慣の<意味1>は<同じ状況下で繰り返し行ううちに、一定の形に定着し、きまりのようになった事柄>というように記述することができる。

続いて、以下の例を見てみよう。

- (21) デンマークでは、一八歳の誕生日を盛大に祝う習慣 (*癖) がある。それは、これが、成人としての出発の日であるからだ。(http://www.kotonoha.gr.jp/demo/)
- (22) ヴェネツィアではそれまでは生肉を食べる習慣 (*癖) がなかったため、この料理は独創的で脚光を浴びた。(http://gogen.bokkurigoya.com/archive/005639.php)

以上の例は、習慣<意味1>とは異なり、ある国や地方の人々 (の行動) が問題となっており、それら (の行動) がだんだん定着し、生活上の様式となったことを表している。「ならわし」、「風習」といった意味に近いと考えられる。

以上のことから、習慣<意味2>は<当該の国や地方の人々の間で、普通のこととして行われる、生活上の様式>というように記述することができる。

続いて、「癖」を取り上げる。「癖」は以下のように3つの意味を認めることができる(注5)。

まず、次の例を見てみよう。

- (23) 私にはカッターで爪や指先の皮を削る癖があります。
(http://www.kotonoha.gr.jp/demo/)
- (24) 起こってもないことを無駄だとわかっているのに、どうしても悪い方向へと考え

る癖があります。(http://www.kotonoha.gr.jp/demo/)

(25) エレキギターを持っていますが、弾けません。どうゆう練習をすればいいですか？

ヘンな癖をつけたくないの、基本を教えてください。

(26) 早起きの癖(習慣)をつけて、勉強に時間を割く。

(http://joshibu.nikkeibp.co.jp/thread/show?id=342)

上記の例における「爪や指先の皮を削る」、「悪い方向へと考える」という行為は、主体が特に強く意識することなく行うものであり、それを繰り返し行った結果、主体の個人的な傾向として現れたものとしてとらえられる。「特に強く意識することなく行う」というのは、あくまでも「そのような行為と結びつきやすい」ということであり、例(26)のように意識的に行う行為の場合に「癖」が用いられるケースもある

以上の例から、癖<意味1>は<（特に強く意識することなく）繰り返し行うことによって身についた個人的な傾向>というように記述することができる。

以下の例を見てみよう。

(27) みなさん言葉の癖(*習慣)や文面の癖(*習慣)ってありますか？それは、自分で気が付きました？(http://www.kotonoha.gr.jp/demo/)

(28) 村松家の現在の当主は市左衛門で、五十歳に近い年配だった。市左衛門は癖(*習慣)のない男で人望があり、地元での評判も悪くなかった。

(http://www.kotonoha.gr.jp/demo/)

(29) 一気に食べさせる凄味と旨味を感じさせる一杯です。脂身が少なく柔らかで癖(*習慣)のないチャーシュー、中心まで程良く味が染みた「煮玉子」も絶品。

(http://www.kotonoha.gr.jp/demo/)

以上の例は、ある人や物が持つ固有の性質・傾向について述べていると考えられる。ここで言う「固有の性質・傾向」というのは、我々が一般的に考えるものとは異なった性質・傾向のものということになる。

以上のことから、癖<意味2>は<一般とは異なった、人や物の固有の性質・傾向>というように記述することができる。

さらに、次の例を見てみよう。

(30) 髪の毛のくせ(*習慣)を短時間で直す方法ありませんか？(例(15)の再掲)

ここで言う「髪の毛」の状態というのは、「曲がった状態」を指しており、それがなかなか元に戻らないということを表している。つまり、癖<意味3>は<曲がったり折れたりなどして、元に戻りにくくなっていること・状態>というように記述することができる。

以上の考察から、「習慣」と「癖」はそれぞれ<意味1>として用いられる場合に類義関係にあると考えられる。以下では、「習慣<意味1>」と「癖<意味1>」を比較し、両語の相違点について考察する。

以下の例を見てみよう。

(31) 潮田が毎夜の癖（*習慣）である歯ぎしりを注意されたのは、（以下略）

(<http://www.kotonoha.gr.jp/demo/>)

(32) 食事の際に片側でばかり噛む癖（??習慣）があると、かみ合わせも悪くしますし、一方の顎に負担をかけるために顎のゆがみを起こす原因にもなります。

(<http://nmhok7.com/genin/sisei.html>)

(33)「その他、何か特徴は、なかったかな？どんなことでもいいんだよ。首を曲げる癖（??習慣）があったでもいいし、声の調子でもいいんだがね」

(<http://www.kotonoha.gr.jp/demo/>)

以上の例における「癖」を「習慣」に置き換えてみると、この文脈では非文か不自然な文となる。

例(31)～(33)における「歯ぎしりをする」、「片側で噛む」、「首を曲げる」という行為は、主体が特に強く意識することなく行うものであり、またそれが繰り返された結果、主体の個人的な傾向となったものとしてとらえられており、「癖」が用いられている。ここで、「習慣」を用いると不自然になるのは、上でも説明したように「習慣」は、行動などを同じ状況下で、長い間繰り返し行い、そうすることによってだんだん一定の形に定着し、決まりのようになったことを表す場合に用いられると考えられるからである。つまり、例(33)の「何か特徴」という表現などからも分かるように、以上の例はあくまでも「主体の個人的な傾向」に注目して述べている文であるととらえられる。

ここで、「癖」と「習慣」が両方用いられる例をあげて、両語の違いについてさらに検討してみよう。

(34) (オフィスヨガ)

いいよ、いいよ。疲れた心身をふわっと緩めて休んで欲しい。で、体や呼吸の様

子に気づく癖(習慣)を身につけて欲しい。そしたら、心がどんな状態にあるかも、気づきやすくなるからね。(http://iamready.blog93.fc2.com/blog-entry-1097.html)

(35) 最近ご飯を食べるとうとうとするようになった。変な習慣(癖)がついてしまった。(例(20)の再掲)

上記の例における「癖」と「習慣」はそれぞれ置き換えることができ、文の持つ意味もほとんど変わらない。ただし、「習慣」は「一定の形に定着し、決まりのようになったこと」に注目されることから、「癖」に比べて、行動などが繰り返された結果の「定着度の度合いが高い」というようにとらえられる。つまり、「個人的な傾向」と「決まりのようになったこと」の根本的な違いというのは、「定着度の度合い」にあると言える。

2.2.2. 「癖(になる)」と「病みつき(になる)」

続いて、ここでは「癖」と「病みつき」を取り上げ、両語の意味の類似点と相違点について考察する。なお、「病みつき」は基本的に「病みつきになる」という形で用いられるため、ここでは「癖になる」「病みつきになる」という形式になっているものを比較する。

次の例を見てみよう。

(36) このジンジャーハイボールは癖(病みつき)になります。

(http://blog.chiitsumo.com/feel/post_477.html)

(37) カツオ風味の和風オムライスが癖(病みつき)になります。

(http://edge12.com/edge-9.html)

以上の例から分かるように、「病みつき」は「癖」が<意味1>として用いられる場合に類義関係にあると考えられる。つまり、<(特に強く意識することなく)繰り返し行うことによって身についた個人的な傾向>ということになる。

続いて、「病みつき」についての例を見てみよう。

(38) (上ミノ) コリっとした歯ごたえがやみつき(癖)になります！

(http://www.coneco.net/s/id_81820310)

(39) アシエってこんな感じ！楽しいからやみつき(癖)になりますよ。

(http://vision.ameba.jp/watch.do?movie=1040895)

(40) 次に、ロードレーサーですが、乗り始めると、やみつき(癖)になります。

(<http://www.watv.ne.jp/~kouanjitaiki1251/sub06.htm>)

以上の例から分かるように、主体はある物事がやめられなくなっていることを表していると考えられる。例えば、例(38)は「上ミノのコリとした歯ごたえが好きで、食べるのをやめられなくなる」というように解釈することができる。また、例(39)は「アシェ(踊り)が楽しくてやめられなくなる」というようにとらえられる。

以上のことから、「病みつき」の意味は、<ある物事に夢中になり、やめられなくなること・状態>というように記述することができる。

ここで、「癖」と「病みつき」の違いについて検討する。以下の例を見てみよう。

(41) 私の父がそうでした。

ずばり「借金に癖(??病みつき)になります」

絶対直りません。(http://hiroba.chintai.net/qa457410.html)

(42) 長い人生、休めるときに休むのも大事なことです。ただ、ずる休みは癖(??病みつき)になるのでやめましょう。

(http://detail.chiebukuro.yahoo.co.jp/qa/question_detail/q1061746600)

以上の例における「癖」を「病みつき」に置き換えてみると、この文脈では不自然な文となる。上の例は、<(特に強く意識することなく)繰り返すことによって身についた個人的な傾向>というように解釈することができ、「癖」が用いられている。この場合、「病みつき」が用いられないのは、文の状況から分かるように、「物事に夢中になり、やめられなくなる」というようにはとらえられないからである。つまり、例(41)の場合、「借金に夢中になってやめられなくなる」というのは、通常考えられないということである。

3. おわりに

日本語と韓国語には中国語起源の漢語系語彙が数多く含まれているということもあり、同じ(中国語起源の)語彙を用いて同じ意味を表すケースが多い。しかし、明らかに意味が違う場合もあり、韓国人が日本語を学習する際には注意が必要である。

そこで本稿では、「類義関係にある複数の語(ここでは日本語の名詞)が韓国語の1語に対応する(または、その逆の)例」の中で、いくつかを取り上げ、各語の意味の類似点と相違点を明らかにした。今回は、ケーススタディとして2つのペアしか取り上げられなかったが、今後さらに考察を進めていき、日本語教育の現場で有効に活用できるような土台作りを目指したい。

注

- 注1 このペアは厳密に言えば、このパターンに当てはまらないが、2章で分析例として取り上げるため、含めておく。
- 注2 韓国語の뒤 (duwi) に対応する語は、「うら」と「うしろ」の他に、「あと」もあるが、ここでは「うら」と「うしろ」の違いを中心に考察する。なお、国広(1997)は「うしろ」を「あと」と比較して分析を行っている。「うしろ」に関しては、国広の考察結果を踏まえ、さらに詳しく検討する。
- 注3 「うら」は、以下に示すように抽象的な事柄を表す場合もあるが、ここでは「うしろ」と類義関係にある<あるものの背後の方向>という空間的意味のみを取り上げる。また、「裏道」「裏街道」「裏番組」「路地裏」のように、複合語の形で用いられる例もあるが、今回は考察対象外とする。
- 「うら」の抽象的な意味：<人の目にふれない、隠されている事柄>
- ①その犯行状況に疑問を持った堀江は、密かに事件の裏を探るために動き出す。
(<http://blogs.dion.ne.jp/nightkkl/archives/6856415.html>)
- ②メディア報道の裏に隠されたもの。(http://note.b-do.com/note/show/48314)
- 注4 この場合의 卑劣 (beoleus) は「礼儀」の意味に近い。
- 注5 「くせ」は、「～のくせ (に)」の形で接続表現として用いられ、「そうでありながら」「それなのに」の意味を表す場合がある。
- ③儂が接近したのを知っている癖に、知らぬ半兵衛、決め込んでいやがる、太い奴だ。
(<http://www.kotonoha.gr.jp/demo/>)

参考文献

- 李澤熊(2011)「日本人韓国語学習者のための日韓対照言語研究」『語研紀要』第36巻第1号, pp.171-190, 愛知学院大学.
- 庵功雄(2001)『新しい日本語学入門』, スリーエーネットワーク.
- 庵功雄(2003)『「象は鼻が長い」入門』, くろしお出版.
- 大野晋・浜西正人(1981)『類語新辞典』, 角川書店.
- 金田一京助・山田忠雄・柴田武・酒井憲二・倉持保男・山田明雄(編)(1997)『新明解国語辞典』第5版, 三省堂.
- 国広哲弥(1997)『理想の国語辞典』, 大修館書店.

- 国立国語研究所(編)(1978)『日本語の文法 上』, 大蔵省印刷局.
国立国語研究所(編)(1981)『日本語の文法 下』, 大蔵省印刷局.
朱信源(編)(2005)『標準韓国語辞典』, 白帝社.
新村出(編)(1998)『広辞苑』第5版, 岩波書店.
田忠魁・泉原省二・金相順(編)(1998)『日本語類似表現のニュアンスの違いを例証する類義語使い分け辞典』, 研究社出版.
松村明(編)(1995)『大辞林』, 三省堂.
民衆書林編集部(編)(1998)『日韓・韓日辞典』, 民衆書林.
民衆書林編集部(編)(2003)『NEW ポータブル日韓辞典』, 三修社.
森田良行(1995)『日本語の視点』, 創拓社.
安田吉実・箕輪吉次・孫洛範・李淑子(編)(2006)『韓日辞典』, 民衆書林.

例文出典

- (1) 検索エンジン 다음 넷 (<http://www.daum.net/>)
- (2) 検索エンジン google (<http://www.google.co.jp/>)
- (3) 日本語用例検索 (<http://www.tokuteicorpus.jp/team/jpling/kwic/>)
- (4) KOTONOHA 「現代日本語書き言葉均衡コーパス」検索デモンストレーション (<http://www.kotonoha.gr.jp/demo/>)